

令和3年 理事会議事録（第2回）

2021年6月17日（木）19:00～21:45

Zoom

理事出席：仲田、坂田、板倉、渡邊、須藤、有馬、岩瀬、和久井、山口、松川、横山

監事出席：松崎

副理事出席：山崎、染谷、寺尾、野尻、亀山、久米、稲村

欠席：友利、黒淵、谷口、高村

順不同、敬称略

議案

会長挨拶

I. 報告事項

【会長】

1. 令和3年度の担当部・委員会について（確認）

会長（仲田）

- ・（常設）災害リハビリテーション対策委員会

- ・（特設）研修会等検討委員会

- ・ 栃木 JRAT

副会長（谷口）

- ・（特設）特別支援教育・スクール OT 推進検討委員会

- ・（特設）臨床実習指導者研修委員会

- ・ 栃木県リハビリ専門職協会副会長

副会長（横山）

- ・（特設）研修会等検討委員会

- ・（常設）住宅改修福祉用具委員会

- ・ 財務部

- ・ 地域リハビリテーション推進部

理事（坂田）

- ・ 事務局長

理事（板倉）

- ・ 会員管理部

理事（友利）

- ・ 総務部

- ・（常設）選挙管理委員会

理事（松川）

- ・ 財務部

- ・ 栃木県リハビリ専門職協会災害対策リハビリテーション推進部会

理事（山口）

- ・ 事業部

理事（高村）

- ・ 広報部

理事（和久井）

- ・ 福利厚生部

理事（須藤）

- ・ 学術部

- ・（常設）とちぎリハビリテーションフォーラム準備・実行委員会

理事（渡邊）

- ・ 教育部

理事（有馬）

- ・ 地域リハビリテーション推進部

理事（岩瀬）

- ・（常設）災害リハビリテーション対策委員会

- ・（常設）住宅改修福祉用具委員会

- ・（特設）自動車運転支援検討委員会

監事（松崎）

- ・（常設）学会調整委員会

監事（黒淵）

- ・ 栃木県リハビリ専門職協会監事（＝相談役）

- ・（特設）特別支援教育・スクール OT 推進検討委員会

2. 一般社団法人日本作業療法士協会 2021 年度定時社員総会の報告について

5月29日（土）13:30～17:30 オンラインにて傍聴参加

役員改選が行われた。会長：中村春基（7 期目）

第 1 副会長：香山明美

第 2 副会長：山本伸一

第 3 副会長：宮口英樹

協会組織再編成に向けて：2021・2022 年度は準備期間として人員の配置、定款・諸規程の変更・整備を進め、2023 年度を目途に新体制へ移行する計画

3. 47 都道府県委員会の報告について

6 月 12 日（土）9:00～15:30 オンライン

オブザーバー参加：横山副会長

議事録は既に配布済み

- ・生涯教育制度の改変が予定されている。
- ・協会倫理委員会から士会へアンケートの調査予定あり。
- ・協会員＝士会員実現に向けて、士会事務局長や会費徴収や会員管理システムに関する担当者 WEB 会議の実施予定。また、近々、意見集約のためのアンケート回答依頼がある。
- ・「協会員＝士会員」とするための協会の定款改定および定款施行規則等諸規定の改定を 2022 年度に行うことを目指している。

【副会長】

4. 47 都道府県委員会の報告について（追加事項）

- ・協会広報部より：協会と士会広報部の意見交換会を実現していきたい考え。
- ・第 31 回東北作業療法学会が岩手で開催予定。情報を HP に掲載していく。

【総務部】

5. 令和 3 年度定期総会書面決議の結果について

有効会員数（令和 3 年 3 月 31 日までの会費納入者）： 717 名

返答数： 570 名 返答率： 79.5 %

第 1 号議案： 賛成) 570 票 反対) 0 票

第 2 号議案： 賛成) 570 票 反対) 0 票

第 3 号議案： 賛成) 570 票 反対) 0 票

第 4 号議案： 賛成) 570 票 反対) 0 票

第 5 号議案： 賛成) 570 票 反対) 0 票

第 6 号議案： 賛成) 569 票 反対) 1 票（事務所設置の経緯が不明）

6. 登記変更手続き（役員変更、事務所移転）について

手続き中。書類に不備が無ければ今月中に完了予定。

7. 総会議事録送付について

発送予定：6 月中旬（施設 1 部）

8. 市町民税の納付について

納付済み

9. 栃木県公衆衛生協会会費の納付について

納付済み

※本年度より今日教育部会議への参加が可能となった（協会の動きを周知するため）。

※参加希望者のみの参加。

(3)研修管理システム説明会

- ・日 時：令和3年6月19日（土）18：00～
- ・参加者：渡邊真一
- ・研修管理システム使用方法の確認

※ブロックごとに実施。後日必要な部へ研修会登録について連絡。

16. 2020年度士会裁量ポイントについて

- ・6月末までにエクセルデータを送付。
- ・昨年度、各部へ情報収集を依頼済み。返答いただいていない部は、会員名簿を確認し渡邊が入力。地域リハは部員が多いため、再度有馬理事へ会員番号を確認いただくよう依頼済み。

【学術部】

17. 今年度の事業計画について

年2回各分野で研修開催を予定

【事業部】

18. 啓発活動について

これまで参加していたイベントに関して開催未定が多い。

開催されるイベントに関しては、可能な範囲で地元の部員が縮小した形で活動実施予定。

19. 障害者スポーツについて

- ・2022年10月栃木国体と同時開催の「全国障害者スポーツ大会」に向け、区分判定審査・コンディショニンググループ協力を実施予定。
- ・コンディショニンググループ運営に関して、20名程度の協力が必要となる見込み。広報部協力の下、メーリングリスト活用し、障害者スポーツへの関心度を聞くアンケートを実施。現時点で33名の回答。

【第11回栃木県作業療法学会準備委員会】

20. 会議報告

・対面会場:文星芸術大学に決定。収容人数250名に対して、参加者50名+実行委員等関係者約40名の90名とする。

・5/22より演題募集開始。一般演題7題（対面とオンライン会場での口頭発表）、ポスター発表10題（web閲覧）

・講演

特別講演:佐藤孝臣氏（株式会社ライフリー代表取締役）

「感染対策・共生型を見据えた地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割」

教育講演:山口智晴氏（群馬医療福祉大学）

「認知症の人を支える作業療法の可能性～基本的理解から地域実践まで～」

→9月の時点で栃木県内の感染状況、講師の在中県の感染状況を見て判断していく。感染状況に応じてオンライン講演は了承済み。

II. 審議事項

【会長】

1. 士会倫理問題担当窓口について

士会の倫理問題担当窓口の役割は研修会開催、教材提供。また、協会からの広報を士会へ伝達することなど。→フローチャートを確認して、士会担当窓口を検討していく 継続審議

2. 栃木県士会設立 40 周年における記念事業について

40 周年に関しては、記念誌、設立の DVD を確認してから検討とする

50 周年の際は、早めに委員会を設立して準備にあたる（3 年前くらいからを予定）

→ 継続審議

3. 第 12 回栃木県作業療法学会学会長について

次期担当ブロック：県南

→学会長：候補者に会長より打診し、次回理事会にて報告 継続審議

4. オンライン士会研修会等への参加者の状況について（アンケート方法）

オンライン研修会への参加者の少ない状況に対し、原因を分析していく

→方法として、HP 上に google フォームの設置やメーリングリスト活用、過去参加者へのメール、紙媒体での調査を検討

→福利厚生部にてアンケート作成し、次回理事会で提案 継続審議

【総務部】

5. インターネット銀行 法人口座開設および法人クレジットカードについて

住信 SBI 銀行の開設を念頭に進める。その際、県学会は 1 口座確保していく。現状の必要口座数は 21 口座。口座の上限数次第でスクール OT の口座数を調整していく→ 承認

現クレジットカードを解約し、新たに JCB 法人クレジットカードの情報を収集した上で比較検討する

→ 継続審議

【会員管理部】

6. 強制退会について

HP に入金依頼の掲載と年会費未納者への通知済み。対象者は 120 名。

連絡可能な範囲で未納者へは強制退会の案内をしていく → 承認

【教育部】

7. 会員番号の管理について

協会番号の照合は可能か？

→ 会員管理システムを使用すれば可能

8. 各部部員の情報収集に関して

理事が部員の会員番号と氏名の情報収集を依頼する

【住宅改修福祉用具委員会】

9. 自助具コンテストについて

例年、県学会の場でコンテスト表彰をしているが、今年度は感染対策として委員を少なくして対応せざるを得ない状況。今年度は表彰式無しで進めて良いか？

→ 承認 代替案として HP 掲載や学会の場で表彰作品をスライドに投影する

【第 11 回栃木県作業療法学会準備委員会】

10. 学会の 対面会場中止の判断について

・判断時期：2 ヶ月前

・判断基準：栃木県のステージが 3 以上

上記の際には、対面会場は中止し、全てオンライン会場での開催を予定している→

承認

III.その他

11. 異動届の HP フォーム設置について

5 月中に運用開始との報告であったが、運用はいつから可能か？

→ 7 月中に運営開始予定

12. 新入会員への対応と入会員数の減少に対する手立てについて

入会員数が減少している原因は何か？

→ 県士会に入会する意味合いを感じていないという意見は聞かれる

→ 魅力ある士会とは何かを考え、会員の流出を防ぐ手立ても必要だろう

13. 今年度、研修会を開催の際の、オンライン・ハイブリッド・対面形式の判断について

研修会を企画する際に、判断基準があった方が良いのか？

→ 研修会検討委員会で検討していく

次回理事会： 2021 年 8 月